

至誠館大学

科目名	教育原理(中・高)			コード			
英語表記	Principle of Education						
担当教員名	佐々木 司			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	対面(萩)	履修形態	選択		
授業概要							
本講義では、教師に必要とされる公教育の理念と制度、ならびに教育に関する歴史及び思想についての基礎的な知識を習得し、教師として学校現場で教育活動に従事する際に必要と思われる教育の原理を理解する。							
到達目標							
1) 人間の成長・発達を促すために、「教育」が必要不可欠であることを理解する。 2) ルソー、ペスタロッチなどの著名な教育思想家の特徴を理解する。 3) 教育の方法原理について、コメニウスやヘルバルト等の理論を中心に理解する。 4) 明治期にわが国の学校制度が、欧米の制度を模範として成立したことを理解する。 5) 公教育の理念について、歴史的経緯等を踏まえて理解する。							
授業計画							
第1回	ガイダンス, 教育とは 教育の領域と概念						
第2回	人間の発達と教育① 人間の発達と環境の関係						
第3回	人間の発達と教育② 子どもとは, 子ども観の変化						
第4回	教育の方法原理① 古代・中世の教育, コメニウスの思想						
第5回	教育の方法原理② ルソーの思想, 自然主義的教育観						
第6回	教育の方法原理③ ペスタロッチ・フレーベルの思想						
第7回	教育の方法原理④ ヘルバルトの思想, 段階教授法						
第8回	教育の方法原理⑤ デューイの思想, 経験主義的教育観						
第9回	教育の歴史① 「学校」の意味と成り立ち						
第10回	教育の歴史② 我が国における学校制度の成立						
第11回	教育の歴史③ 大正新教育運動の普及						
第12回	教育の歴史④ 戦後教育改革の展開						
第13回	教育の今日的課題① 現代教育改革の動向						
第14回	教育の今日的課題② いじめ・不登校問題への対応						
第15回	教育の今日的課題③ 学校と地域社会との関係						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
日頃の受講態度, 出席状況, レポートの内容と定期試験の結果を総合して評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	10	80	
授業外学習			テキスト、教材				
			別途、指示する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
講義中に適宜指示する。			教師を目指す者として, 国の教育政策や教育時事問題等に常に 関心を持ち, 新聞やニュース等である程度の予備知識を持って 授業に臨むこと。				
キーワード							
教育の思想と歴史, 学校教育, 教育問題							